

壁ボード貼り 目次

- 1 . 一般事項
 - (1) 施工数量
 - (2) 専門工事業者
 - (3) 工程
 - (4) 施工責任範囲
 - (5) 材料の搬入と
 - (6) 脚立足場架け

- 2 . 材料
 - (1) 使用材料

- 3 . 共通事項

- 4 . 施工
 - (1) 界壁ボード貼
 - (2) 一般部のボ-

- 5 . 自主検査

- 6 . 片付け

- 7 . 安全事項

<http://gemba-know-how.com>

1. 一般事項

(1) 施工数量

界壁	スラブ下まで H=3,300	1	387	m ²
				"
一般壁	天井下まで H=2,400 ~ 2,800		815	"
			13	"
		3 mm	52	"
				"
				"

(2) 専門工事業者の施工体制

元請

TEL 03-9988-4545

一次下請

 掛

TEL 03-5432-1234

二次下請

 掛

TEL 03-1234-5678

三次下請

 有
代表
担

TEL 03-3265-9988

職長
作業員

玉掛免許

http://gemba-know-how.com

(3) 工程

1) 打合せ工程

		10月		
		10	20	30
設備・電気工事				
荷揚げ他段取り				
界壁ボード貼り				
一般壁ボード貼り				
天井ボード貼り				

2) 施工順序および作業日程

- ・ 月 日から入場し、
- ・ 翌日より本作業に入り 2 F C
- ・ 材料揚げは各フロア施工日前
- ・ 月 日から 2 日間で

を行う。
各室へと進めて行く。
。
ボードを施工する。

3) 施工日数

ボード貼り面積 = 2,100 m²
1人当り平均施工面積 / 40 m²
2,100 / 40 = 52.5 人

8日

(4) 施工責任範囲

元 請 側	<p>1. 下地の軽</p> <p>2. 開口部が</p> <p>3. 電気配線、配管工事 (保温とも) 完了</p> <p>4. 木枠、鋼製建具枠取付完了</p> <p>5. 足場材の準備</p>	<p>されている。</p>
-------	---	---------------

業 者 側	1. 電気ボックス部穴あけ 2. 目地処理 3. 残材の片付け 各フロア施工後には、材料搬入時にその車にて持ち帰る。
-------	---

(5) 材料の搬入と運搬

材料搬入は、施工着手予定日()

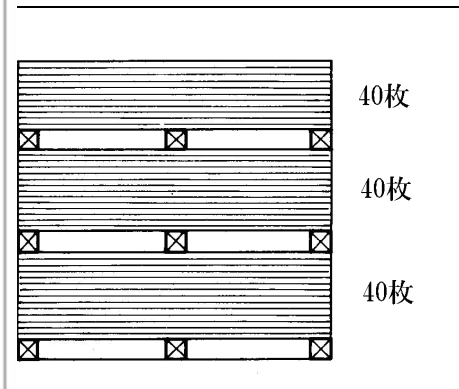
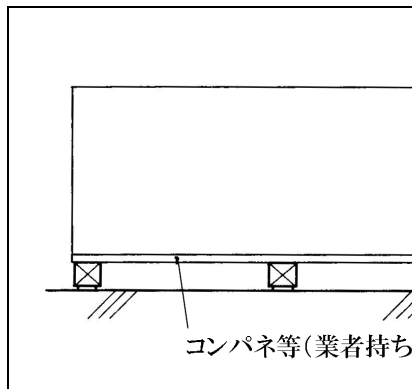
- ・ 1回の搬入数量は1フロア分
- ・ 垂直運搬は定置クレーンを利用
- ・ 搬入トラック荷積み時において
- ・ 積み込み時は帯バンドを使用し、
- ・ 載せて、材料の置き場所に運搬
- ・ なお、追加材料等の揚重は、積降ろしは人力による。(専

り枚とする。

角でパッキンをし、積込んでおく。

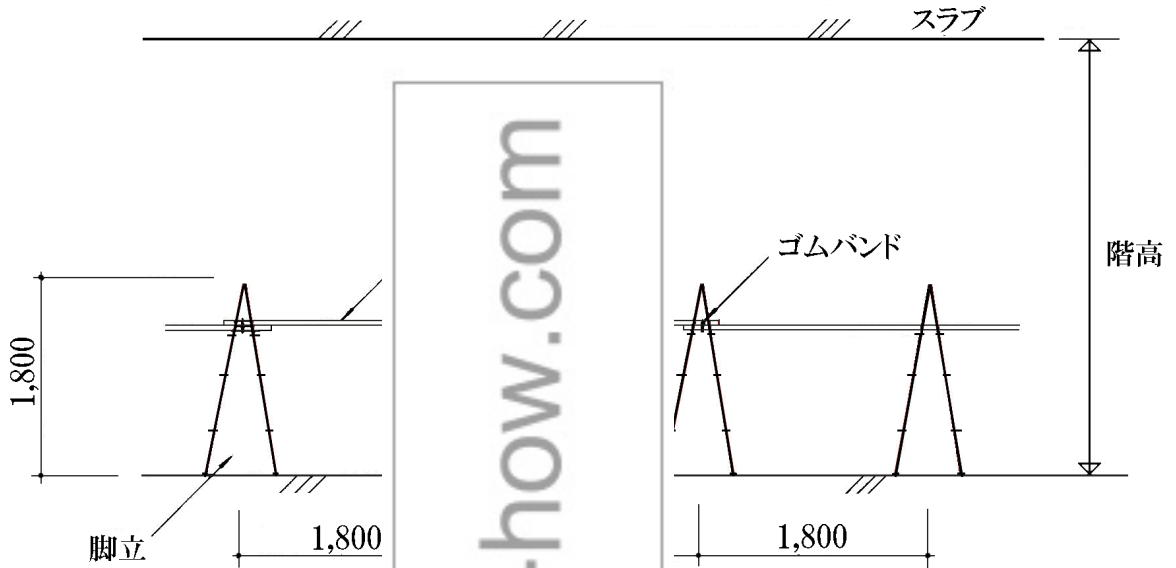
降ろし、ボード工が各フロアの台車に直接床に接しないようにする。

ベータ(ピアット)を使用し、積み込み、



http://gemba-know-how.com

(6) 脚立足場架け



・脚立	50
・足場板	100
・ゴムバンド	100
・バタ角	10

は1階に元請が用意する。
 昇業者が各階まで運搬する。
 自分たちで架バラシを行い、最後は最上
 所で集積する。
 ステージは元請が設置する。

2. 材料

(1) 使用材料

界壁ボード	吉野石膏株 (テーパー)	省認定不燃第 1011 号」 : 1, 820 × 9 : 2, 730 × 12
耐水石膏ボード		省認定準不燃第 2004 号」 : 2, 730 × 12
フレキシブルボード		
ビス	(株) 製ボ	23 (スチール亜鉛めっき)
ステーブル	(株) 製	419J (スチール亜鉛めっき)
接着剤	(株) 製	〇〇〇〇

http://gemba-know-how.com

3. 共通事項

1) 下記の図面を作成し、監督員の承諾を得る。

- a. 壁割付図
- b. 標準納り図
- c. その他必要と思われる図面

2) 割付墨出し

- a. 壁返り墨により、壁下地面
- b. 壁ボード割付図により、壁

3) 立会検査

施工の開始にあたり前作業の引渡と協議の上、速やかに処置を

に支障をきたす箇所が発生した場合は係

4. 施工

(1) 一般部のボード貼り(スラブ)

1) 施工条件

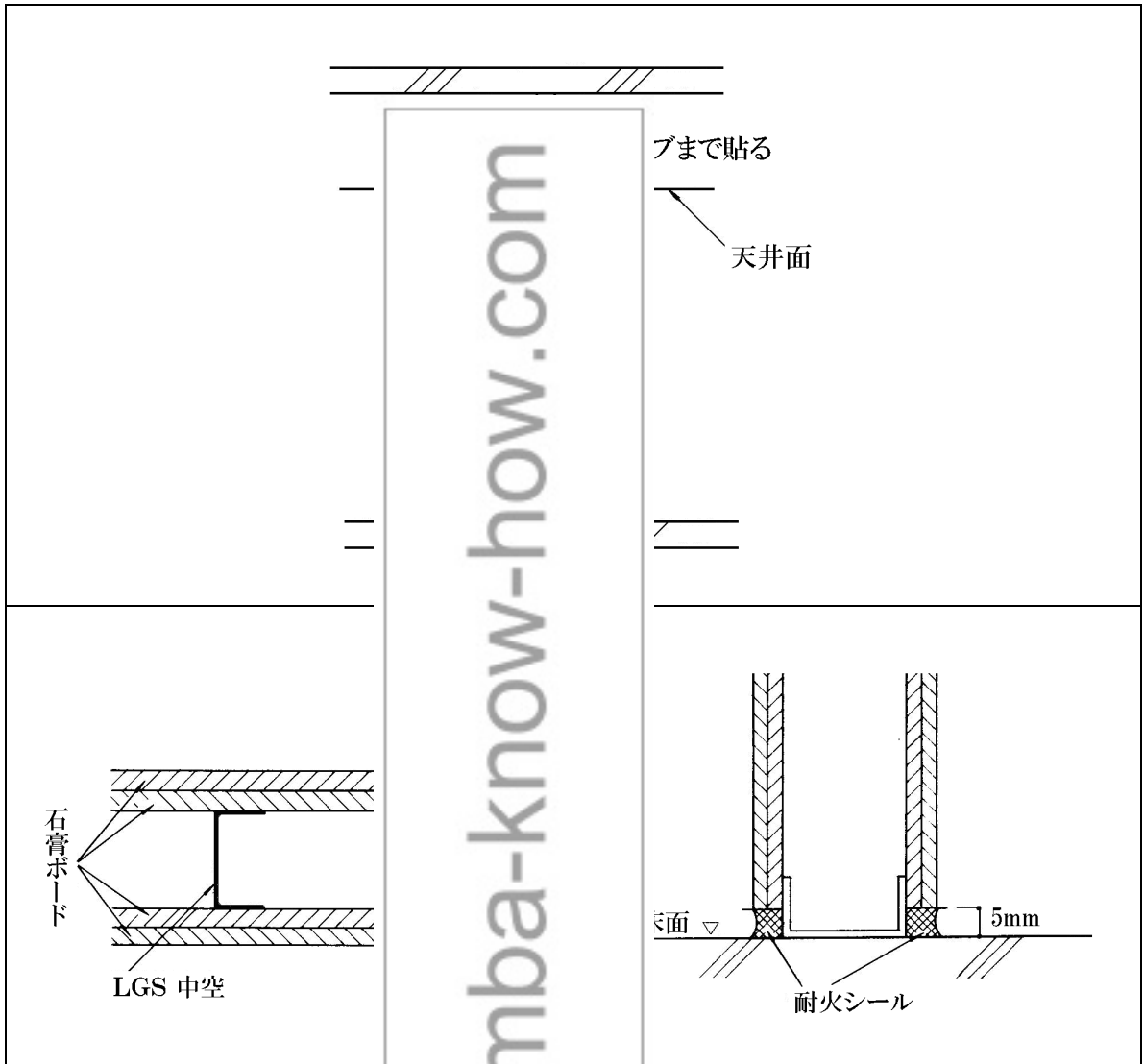
a. 要求品質

遮音性能	透過損失
防火性能	防火区画
要求精度	目地処理 クラック

こと。

<http://gemba-know-how.com>

b. 設計仕様



2) スラブ下まで張る場合のボ-

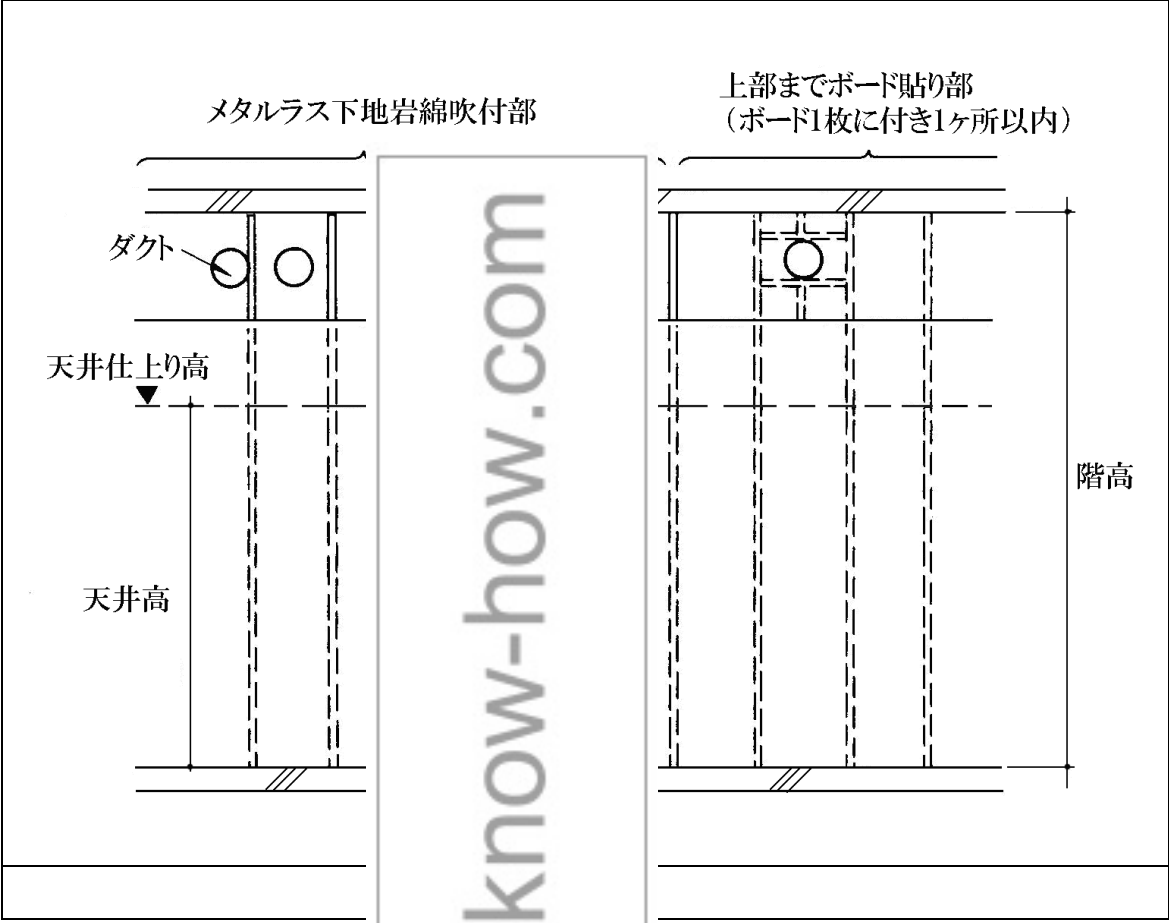
- a. 下地ボード張りは横張りとし、ボード面より出ないようにねじを締める。ボード下端は5mmの隙間を設ける。
- b. ボードは、原則として、スラブ面と廊下の間仕切に間に合うように張り岩綿吹付けとする。

10以下)とする。この際、ビス頭がボード辺部については@200とする。床面とボ-

まで張上げるが、ダクトの集中している部分まで張り上げ、それ以上はメタルラス

3) 仕上ボード張り(上貼り)

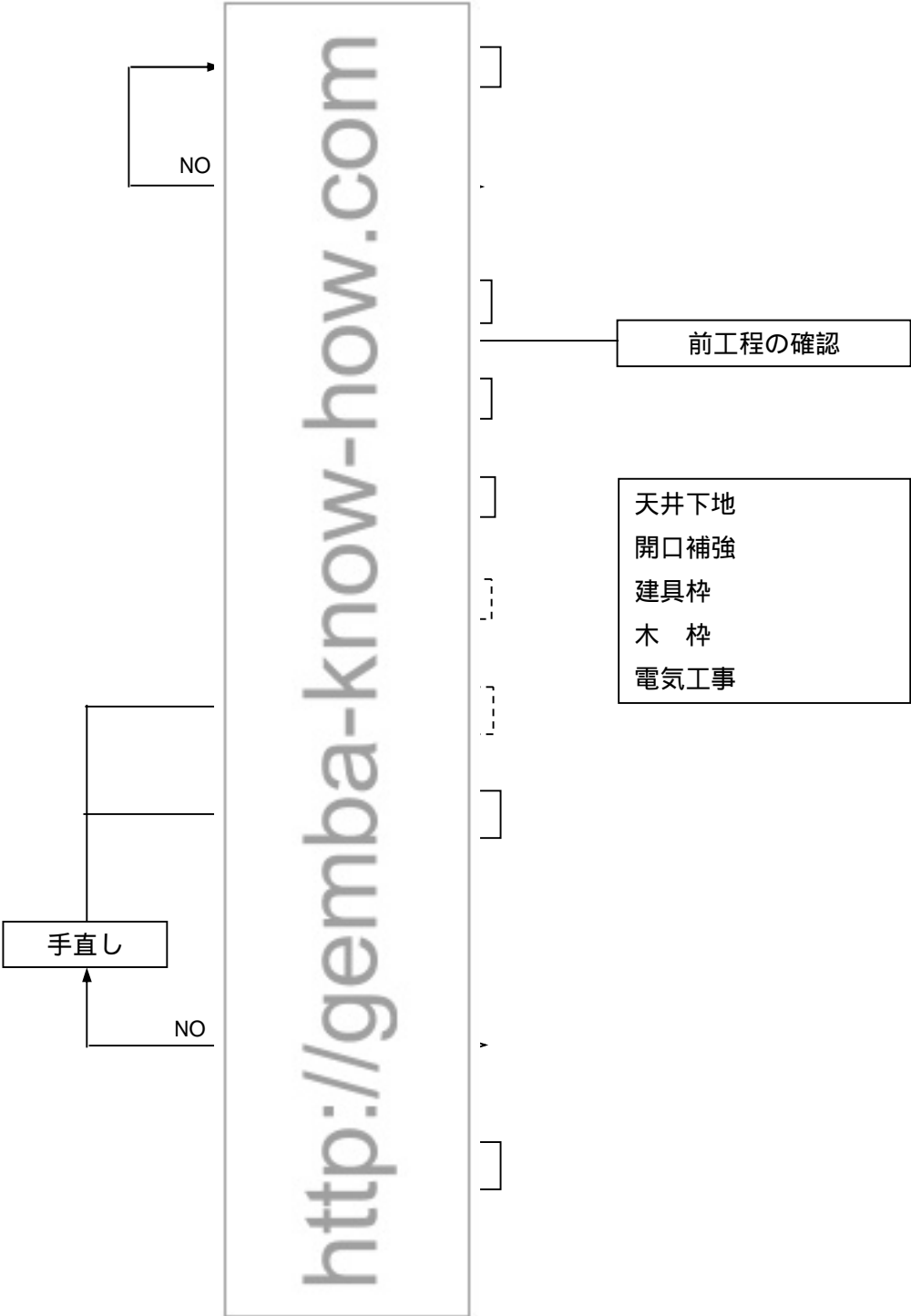
仕上げボード張りは、下地ボード張りの目地と目地が50mm以上離れるように縦張りとし、接着剤およびステーブル止め(@100以下)とする。



<http://gemba-know-how.com>

(2) 一般部のボード貼り (天井下まで)

1) 壁ボード貼りフローチャート

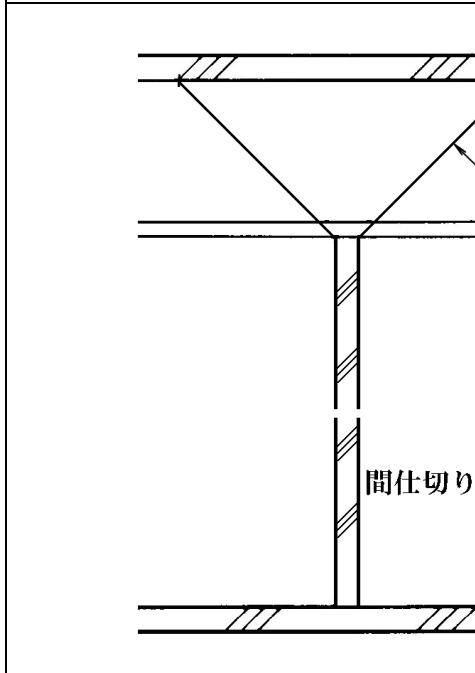
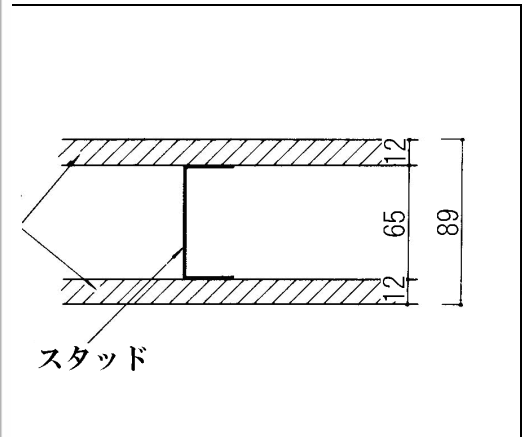
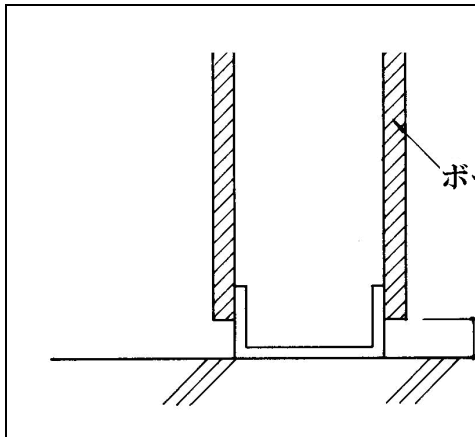


2) 天井下までの場合のボード張り

ボードは縦使いとし、下地軽量鉄骨には皿ビス止め (@300 以下) とする。この際、ビス頭がボード面より出ないようにねじ込む。

床面コンクリートとボード下端は 5 mm 程度の間隙をあける。

ボード上部は、天井仕上げ材で張る。



<http://gemba-know-how.com>

3) 壁ボード下貼り

a. 石膏ボード下貼り

石膏ボードをスタッド面に縦または横貼としタッピングビスを使用し皿頭表面がボード面より少しへこむように確実にとめつける。通常タッピングビスの長さは、ボード厚さに 10mm 以上加えた物を使用する。

ビスピッチは周辺部 200mm、中間部 300mm 程度とする。

b. 防水石膏ボード下貼り

防水石膏ボードをスタッド面に縦または横貼としタッピングビスを使用し皿頭表面がボ

ード面より少しへこむように確実に止めつける。通常タッピングビスの長さは、ボード厚さに 10mm 以上加えた物を使用する。

ビスピッチは周辺部 200mm、中間部 300mm 程度とする。

c . 珪酸カルシウム板下貼り

珪酸カルシウム板下貼をスタッド面に縦または横貼としタッピングビスを使用し皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつける。通常タッピングビスの長さはボード厚さに 10mm 以上加えた物を使用する。ビスピッチは周辺部 200mm、中間部 300mm 程度とする。

d . 石綿セメント板下貼り

石綿セメント板をスタッド面に縦または横貼としタッピングビスを使用し皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつける。通常タッピングビスの長さは、ボード厚さに 10mm 以上加えた物を使用する。ビスピッチは周辺部 200mm、中間部 300mm 程度とする。

5) 壁石骨ボード仕上貼

下貼りのある場合

a . 突付け貼り

下地面に出された割付墨に従い、壁紙の裏面に石骨ボードを突き出し、目地通りに注意しながら裏面に点付けし表面よりビスまたはステーブルを使用し、重ならないようにする。その際下貼りのボード目地は 50mm 以上離す。

b . 目透し貼り

下貼りのボード面に出された割付墨に従い、壁紙の裏面に石骨ボードを突き出し、目地通りに注意しながら裏面に点付けし表面よりビスまたはステーブルを使用し、重ならないようにする。その際下貼りのボード目地は 50mm 以上離す。

c . ジョイナー使用

下貼りのボード面に出された割付墨に従い、壁紙の裏面に石骨ボードを突き出し、目地通りに注意しながら裏面に点付けし表面よりビスまたはステーブルを使用し、重ならないようにする。その際下貼りのボード目地は 50mm 以上離す。

直貼りの場合

a . 突付け貼り

下地面に出された割付墨に従い、壁紙の裏面に石骨ボードを突き出し、目地通りに注意しながら裏面に点付けし表面よりビスまたはステーブルを使用し、重ならないようにする。その際下貼りのボード目地は 50mm 以上離す。

通常タッピングビスの長さは、ボード厚さに 10mm 以上加えたものを使用する。

ビスピッチは周辺部 200mm、中間部 300mm 程度とする。

b . 目透し貼り

<http://gemba-know-how.com>

下地面に出された割付墨に従い、壁高に応じた寸法の石膏ボードを目地の通りに注意のないようタッピングビスを使用し、皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつけ、目透し貼りとする。

その際下貼りのボード目地と石膏ボードの目地は 50mm 以上離し、重ならビスピッチは周辺部 200mm、中間部 300mm 程度とする。

c . 目透し貼り（横目地）

下地面に出された割付墨に従い、壁高に応じた寸法の石膏ボードを目地の通りに注意のないようタッピングビスを使用し、皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつけ、目透し貼りとする。

通常タッピングビスの長さは、ボード厚さに 10mm 以上加えたものを使用する。ビスピッチは周辺部 200mm、中間部 300mm 程度とする。

去の石膏ボードを目地通りに注意のない面より少しへこむように確実に止めつけ、

m 以上加えたものを使用する。

る。

する。

d . ジョイナー使用

下地面に出された割付墨に従い、壁高に応じた寸法の石膏ボードを目地の通りに注意のないようタッピングビスを使用し、皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつけ、目透し貼りとする。

去物の石膏ボードの継ぎ目部に選択され併用して貼り上げる。その際仕上貼りの目地は下貼りの目地と同様に

6) 化粧珪酸カルシウム板仕上貼
下貼りのある場合

a . 仕上げの珪酸カルシウム板
目透し貼り
下地面に出された割付墨に従い、壁高に応じた寸法の珪酸カルシウム板を目地の通りに注意のないようタッピングビスを使用し、皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつけ、目透し貼りとする。

去物(エマルジョン系) 200g/m²程度に点付け併用して貼り上げる。その際仕上貼りの目地は下貼りの目地と同様に

直貼りの場合

a . 目透し貼り

下地面に出された割付墨に従い、壁高に応じた寸法の珪酸カルシウム板を目地の通りに注意のないようタッピングビスを使用し、皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつけ、目透し貼りとする。

去物の珪酸カルシウム板を目地の通りに貼る。その際仕上貼りの目地は下貼りの目地と同様に

m 以上加えたものを使用する。

する。

b . 突付け貼り

下地面に出された割付墨に従い、壁高に応じた寸法の珪酸カルシウム板を目地の通りに注意のないようタッピングビスを使用し、皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつけ、突付け貼りとする。

去物の珪酸カルシウム板を目地通りに注意のないようタッピングビスを使用し、皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつけ、突付け貼りとする。

m 以上加えたものを使用する。

c . 目透し貼り（横目地）

下地面に出された割付墨に従い壁高に応じた寸法物の珪酸カルシウム板を目地通りに注意しながらタッピングビスを使用し、皿頭表面がボード面より少しへこむように確実に止めつけ、目透し貼りとする。

通常タッピングビスの長さは、ボード厚さに 10mm 以上加えたものを使用する。

<http://gemba-know-how.com>

横目地を取る場合、目地板（亜鉛鉄板）を使用する。
ビスピッチは周辺部 200mm、中間部 300mm 程度とする。

7) 石綿セメント板仕上貼り

下貼りのある場合

- a . 下貼りボード面に出された
りに注意しながら裏面に
よりビスまたはステーブ
いよう注意する。

直貼りの場合

a . 目透し貼り

下地面に出された割付墨
しながらタッピングビスを
つけ、目透し貼りとする。
通常タッピングビスの長さ
ビスピッチは周辺部 200mm

b . 突付け貼り

下地面に出された割付墨
ながらタッピングビスを
け、突付け貼りとする。
通常タッピングビスの長さ
ビスピッチは周辺部 200mm

c . ジョイナー使用

下地面に出された割付墨
れたジョイナーを使用し
少しへこむように確実に
ビスピッチは周辺部 200mm

d . 目透し貼り（横目地）

下地面に出された割付墨
ながらタッピングビスを
け、目透し貼りとする。
通常タッピングビスの長さ
横目地を取る場合、目地板
ビスピッチは周辺部 200mm

<http://gemba-know-how.com>

心じた寸法物の石綿セメント板を目地通
ン系)を 200g/m²程度に点付けし、表面
。その際仕上貼の目地と同位置にならな

去物の石綿セメント板を目地通りに注意
ード面より少しへこむように確実に止め

m 以上加えたものを使用する。
する。

去の石綿セメント板を目地通りに注意し
ド面より少しへこむように確実に止めつ

m 以上加えたものを使用する。
する。

去の石綿セメント板を継ぎ目部に選択さ
上げる。
:する。
する。

去の石綿セメント板を目地通りに注意し
ド面より少しへこむように確実に止めつ

m 以上加えたものを使用する。
する。
する。

(3) ボードの目地処理

1) 長辺方向（テーパー付き部）

長辺方向はテーパーが付いているが、その目地処理は、下図Aのとおりとする。

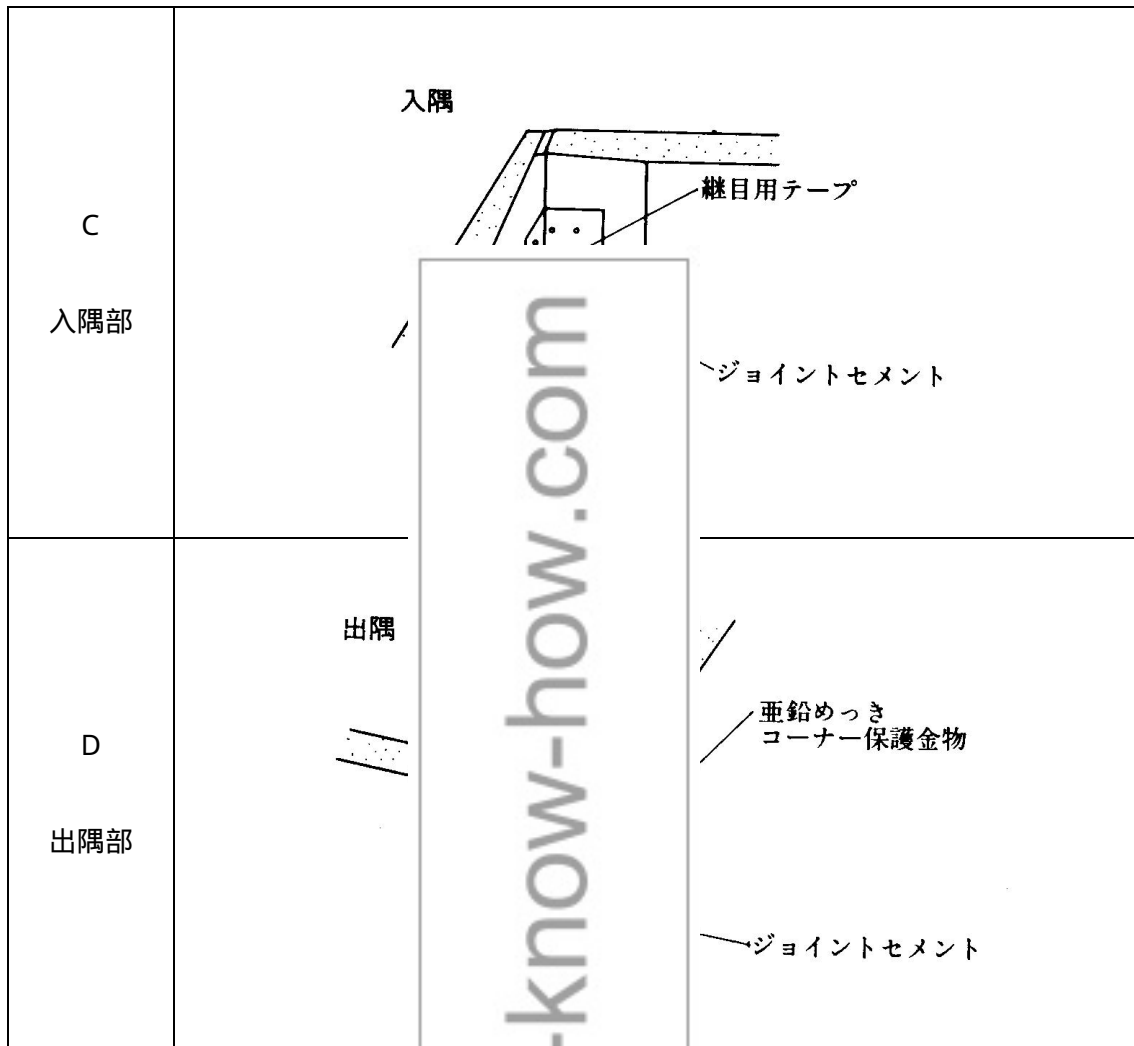
2) 短辺方向（テーパーのない部分）

テーパーのない部分は軽く面取りをし、下図Bの目地処理とする。

3) 入隅、出隅部の目地処理

入隅、出隅部の目地処理は下図C ~ Dのとおりとする。

<p>A</p>		<p style="text-align: center;">http://gemba-know-how.com</p> <p>下塗り) ジョイントセメント 継目用テープ張り</p> <p>中塗り) ジョイントセメント</p> <p>上塗り) ジョイントセメント トンドペーパー掛け)</p> <p>全面パテ処理 <全面パテしごき> (指定がある場合に行なう)</p> <p>寸き部)</p>
<p>B</p>		<p>取り ジョイントセメント テープ張り 中塗り) ジョイントセメント</p> <p>面パテ処理 全面パテしごき> (指定がある場合に行なう)</p> <p>-のない部分)</p>



5. 壁ボード貼り自主検査
自主検査表によりチェックを行う

場合は速やかに処置を行う。

(1) 自主検査 (壁ボード)

検査項目		準	備考
1	ビスピッチは適切か	間部 300mm 程度	
2	ビスの締めつけ具合は適切か	間部 300mm 程度	
3	仕上げボードのビスおよびステーブルのささくれや跡がついていないか	ボード面より少しへこむ	目 視
4	化粧石膏ボードのビスの配置は適切か		目 視

5	目透しの通りおよび目地巾はよいか	目 視（図示通り）	
6	正しく切断加工しているか	目 視（石骨ボード カッター 石綿スレート板 スレート鋸）	
7	表面の汚れはないか	目 視	
8	見切りの通りはよいか		
9	出隅・入隅の留加工はよいか		
10	仕上材の目違いはないか		
11	岩綿吸音板のステーブルは適に打たれているか		
12	下貼りは仕上げ材の目地を考て貼っているか	mm 以上	
13	ビスもれはないか		
14	全体の仕上げの状態はよいか		

6 . 片付け

- 1) 保管材料は指定場所に置く。
部品（クランプなど）は、ニ
- 2) 梱包材は重ねて結束しておき
- 3) 残材は結束、または袋に入

れて、指定場所に置く。
外に持帰る。
場外に搬出する。

7 . 安全事項

- 1) 脚立の足元はつねに始業点検
- 2) 特別に設けられた区域を除き
- 3) 作業中および作業終了後の片
- 4) 工事担当者および職長は、施
合には直接是正指示するか、
- 5) 火気を使用するときには十分
- 6) 材料揚重作業は有資格者を配
- 7) 資格を要する作業は有資格者
- 8) コンプレッサー、電気ドリル
う。

支持および足場板自体の点検も行う。
安全帯を着用する。
。
作業または施設の不備が見受けられた場
告し処理する。

正しく行う。

タッカーなどの自主点検および報告を行

http://gemba-know-how.com